

「渋谷 パルコ・ヒューリックビル」が 「2020年度グッドデザイン・ベスト100」を受賞

2019年11月に開業しました新生渋谷 PARCO が入る「渋谷 パルコ・ヒューリックビル」が、2020年度グッドデザイン・ベスト100（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

「渋谷 パルコ・ヒューリックビル」は、2つの建物を一つの街区に統合し、かつて2つの建物の間を走っていた区道を歩行者専用道路として施設内に引き込み、また、スペイン坂から続く建物外周部に立体街路を設け回遊性を高めることで街をめぐるような体験を生み出した点が高く評価されました。

今後も新生渋谷 PARCO は、都市生活者に向けたライフスタイルの提案やエンタテインメントを通じた文化的な情報発信を行い、さまざまな価値観と文化が融合する渋谷の街の更なる活性化に貢献することを目指してまいります。



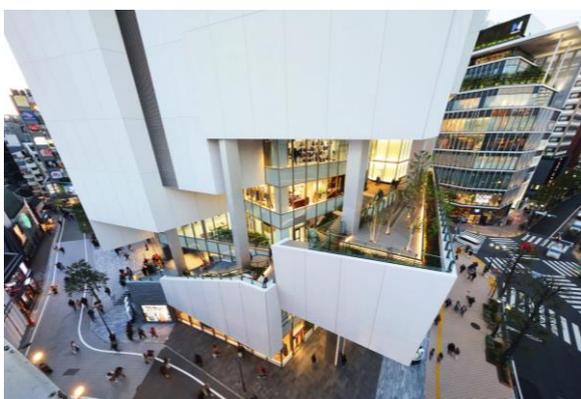
GOOD DESIGN AWARD 2020

BEST 100

【受賞作品 概要】

- プロジェクト名： 渋谷 パルコ・ヒューリックビル
- 場 所： 東京都渋谷区宇田川町 15-1
- 設計施工： 株式会社竹中工務店
- 応募者： 株式会社パルコ
ヒューリック株式会社
株式会社竹中工務店

敷地面積 5,385.95m² 建築面積 4,669.63m²
延床面積 63,856.03m²
階数 地下3階 地上19階 塔屋1階
構造 鉄骨造（柱CFT造）
一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造



【審査委員の評価】

道路を隔てて分かれていた2つの建物をひとつの街区に統合し、都市再生特別地区制度による容積率割増を活用し建物外周部に立体街路というパブリックスペースや劇場やオフィスの機能を新たに付加した渋谷PARCOの建替計画。周辺の公園通りやスペイン坂は1973年渋谷バルコ誕生時に名付けられ、そこから自然発生的に育っていったストリートカルチャーは渋谷らしさの形成に欠かせない。

かつてPART1とPART3の間を走っていた区道を、新たに店舗が並ぶ歩行者専用道路として施設内に引き込み、スペイン坂から続く建物周辺を回遊する立体街路により渋谷の谷から丘を目指す坂の延長線上のように建物の一部でありながら街をめぐるような体験を作り出している点が素晴らしい。

リアル店舗の意義が問われるなか、道をつくることで街が生まれ科学変化や混じり合いが文化をつくるという一貫した考えを建物とMDにより体言した革新的な施設として総合的に高く評価したい。

【デザインの経緯とポイント】

渋谷らしい界限性のある賑わい創出の主軸は建物周囲を回遊する立体街路と、立体街路に路面店のように張り巡らされたコンテンツです。渋谷の特徴である「坂」や「通り」、街の「界限性」を建物外周部に立体街路として取り入れ、人の流れや賑わいがそのまま引き込まれ、賑わいに溢れた新たな「街」を創り出します。

渋谷の中でも界限性のあるスペイン坂から続く立体街路は、地上から天空へ至る新たなストリートとなり、ストリート沿いには、個性的な店舗やイベントスペース、エンタテインメント施設、広場等が散りばめられ、新たに付加されたオフィス機能との相乗効果も加味され、バルコのDNAである「インキュベーション」「まちづくり」「情報発信」が色濃く体现されています。

立体街路を行き交う人々は多様な文化のコンテンツに触れ合うと同時に、半屋外空間としての居心地の良さも享受し、思い思いに腰掛け、語り合い、立体街路は文化を育むストリートとなります。

*グッドデザイン・ベスト100とは

グッドデザイン・ベスト100は、その年のすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、審美性、提案性、可能性など総合的に優れているとして高い評価を受けた100点です。今日におけるデザインの水準を高めるに相応しい、これからのモデルとなりうるデザインであり、今年度グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）をはじめとする特別賞各賞がグッドデザイン・ベスト100の中から決定し10月30日に発表されます。

*グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。<http://www.g-mark.org/>



GOOD
DESIGN

<本件に関するお問い合わせ>
株式会社パルコ 広報部 TEL: 03-3477-5710